

こう じょ 更女だより

令和6年7月1日
尾花沢市更生保護女性会

更生保護女性会は、罪を犯した人や非行のある少年たちの立ち直りに協力することを目的とした法務省管轄のボランティア団体で、社会を明るくする各種活動に取り組んでいます。

尾花沢市更生保護女性会総会並びに研修会を開催

4月17日、東光館において令和6年度尾花沢市更生保護女性会総会が開催され、令和5年度の活動報告、収支決算、令和6年度の活動計画案、収支予算案などが全会一致で承認されました。

総会終了後、昨年作成した広報紙芝居「吾作ものがたり」「幸せの黄色いリボン」が会員らに紹介され、その後、東北地方更生保護女性連盟会長の川野秀子氏より「私と更生保護女性会活動」と題して講演していただきました。

川野氏は寒河江市更生保護女性会長、山形県更生保護女性連盟会長を歴任後、昨年度から現職に就任なさいました。「更女活動の原点は、戦災孤児への“ほっとけない精神”に始まります」と話し始め、日本更生保護女性連盟歴代会長の功績について語られた後、「地域の課題を見つけ、私たちに何ができるか話し合いましょう。活動がマンネリ化してくるので数年に一度活動を見直して、研修会や施設訪問だけではない新しいことにも取り組んでもらいたい。楽しく活動し、更女のおせっかいおばちゃんとして地域づくりの一端を担っていきましょう」と話されました。



会長あいさつ



講演する川野秀子氏

令和6年度の役員

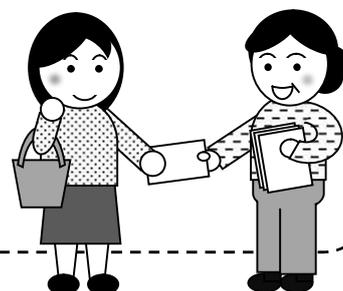
- 顧問 梅津裕子 鈴木千鶴子
- 会長 加藤恭子
- 副会長 東海林朋子
- 評議員
- ＜尾花沢＞佐藤マキ子 梶川智子
大類千尋
- ＜福原＞矢作一恵
- ＜宮沢＞小林日出子
- ＜玉野＞鈴木幹子
- ＜常盤＞田村より子 三宅房子
- 幹事 (会計) 菅藤広美
- 監事 及川志津子 尾崎光子

花笠地域安全活動に参加して



5月10日、ヤマザワで実施された活動に初めて参加しました。警察が準備した振り込め詐欺被害防止や交通安全の広報紙を買い物に来られたお客様方に配付しましたが、いろいろなボランティア団体の会員の方々が参加していました。みんなで地域の安全を呼び掛ける活動は素晴らしい活動だと思いました。「気をつけて」とお声かけすると皆さん、快く受け取ってくださいました。

尾花沢地区 大類千尋



今年も高齢者施設にプランターを届けました！



5月27日、東光館駐車場において会員11名が参加し、プランターにマリーゴールド、サルビア、ペゴニアなどの花の苗を植えました。

当会では、月に一度、特別養護老人ホーム「長寿園」を訪問し、入所者の方々にコーヒーやお茶、お菓子などをお出しする喫茶ボランティアを長年実施してきましたが、コロナ禍で対面する活動が出来なくなり、令和4年から新しく始めた活動で、今年で3回目になります。

終了後、市内の高齢者福祉施設6か所にプランターをお届けしました。



3年目なので皆さん作業に慣れていてアツという間に終わりました。終了後、私も老人ホームにプランター3個をお届けしました。毎年喜んでいただいておりますが、昨年秋、プランターを回収しにうかがった際、施設の職員さんから「入所している方々が水かけをしてくださるので花がとても長持ちしています」と言われ、大切にしてくださっているのを知り、嬉しくなりました。

尾花沢地区 梶川智子

......*...*...* 山形県更生保護女性連盟理事会 *...*...*...*...*

6月6日、「山形テルサ」(山形市)においてみだしの会議が開催され、県内21地区の会長、副会長が出席し、午前中は事業報告、会計報告等、午後は話し合いが行われました。

活動発表の時間があり、当会は広報紙芝居の作成について発表しました。他地区の「子どもたちに昔遊びを伝承している」「学校の清掃活動に協力している」「子ども食堂を開いている」等の発表を聞き、大いに刺激を受けました。また、更生保護施設「羽陽和光会」(山形市)への支援活動についても色々な方法があることを知りました。

山形県更生保護女性連盟の新スローガンが「思い合い 支え合い 共に歩む」に決まったこと、経緯や、9月に開催が予定されている東北地区更生保護女性連盟研修会の打ち合わせもあり盛りだくさんの内容でした。

副会長 東海林朋子

読み聞かせボランティアは若さの秘訣！

尾花沢市内の各小学校で行われている絵本や児童図書の読み聞かせ活動に、当会員も多数参加しています。

対象になる学年に合わせた図書選びは大変ですが、ワクワクするような楽しみもあります。また、集中してお話を聞いている子どもたちの様子や表情にやりがいを感じ20年近く継続している会員もいます。



編集後記

海や山が恋しい季節になりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

当会の活動を知っていただくため、機関紙第29号を発行させていただきました。今後とも、活動へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

(広報部)